

二級
私は、木造 建築士の試験（免許）を受けたいので、建築実務の経歴を下記のとおり記載し、併せてこの実務経歴書の内容が事実と相違しないことを第三者が確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。なお、下記記載事項が真実で、かつ、正確であることを誓います。

令和 年 月 日

氏名
(自署)

埼玉県知事
埼玉県指定登録機関 殿
一般社団法人埼玉建築士会会長

記

勤務先等

勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計	
		年月～年月	年月数
		年 月～ 年 月	年 か月

在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第1条の2)
年月～年月	年月数		
年 月～ 年 月	年 月		
年 月～ 年 月	年 月		
年 月～ 年 月	年 月		

建築実務の詳細	建築実務経験期間の合計		
	年 か月		

(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
				年 月～ 年 月	%
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					

(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
				年 月～ 年 月	%
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					

(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
				年 月～ 年 月	%
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					

(第2面)

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 か月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 か月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 か月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 か月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
※経由機関記載欄		※指定登録機関記載欄			

二級

- 注意事項 1 数字は、算用数字を用い、木造欄は該当する方を○で囲んでください。
- 2 氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- 3 この実務経歴書は、勤務先(自営業を含む。)ごとに作成し、今までの建築に関する実務の経歴について受験又は登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。
- 4 記載内容に不備があった場合又は疑義が生じた場合には、再提出や追加書類の提出を求められることになり、登録が遅れる場合があります。
- 5 虚偽の実務経歴を記載した場合には、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。
- 6 ※の欄は、記入しないでください。

実務経歴証明書

令和 年 月 日

埼玉県知事
埼玉県指定登録機関 殿
一般社団法人埼玉建築士会会長

証明者

住所・所在地

電話番号

申請者との関係

下記の者が申請した 二級 木造 建築士の受験申込書（免許申請書）に添付された実務経歴書は、事実と相違しないことを証明します。

記

1 申請者氏名

2 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： 年 月

建築実務の内容：

- 備考
- この実務経歴証明書は、実務経歴書ごとに作成してください。
 - 二級 木造 欄は該当する方を○で囲んでください。
 - 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認して記載してください。
 - 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。